

Living Mama Studio

ママスタ

リビングマロニエ
企画・制作 栃木リビング新聞社

“あ～、いい人生だった”って 思える生き方をしたい。

奥村 愛さん バイオリニスト

interview

子育て中でもイキイキ輝いている自分でいたい。そんなママを応援する「ママスタ」。第10回目となる今回は、国内外でのコンサートやテレビなどで幅広く活躍する、バイオリニストの奥村愛さんにお話を伺いました。



子どもとよく触れ合って、言葉で気持ちを確かめ合おう

奥村愛さんは、優雅でダイナミック、豊かな表現力を持つ、クラシック界で注目される人気バイオリニスト。そして、4歳の元気な女の子のママでもあります。

「毎日何かしら1回は笑わせてくれます。お茶目ですごく活発、まるで野生児のよう(笑)」。そんな愛娘と過ごす時間、意識するのは、体によく触れることと、言葉で気持ちを確かめ合おう。奥村さんが大切にしていることです。

「お手伝いもよくしてくれます。大人のすることにも興味があるんです。できることはどんどん任せています。『ママがコレしている間、レタスをちぎっておいでくれる?』とか、簡単な食器洗いか、子どもって何かを任せられるとそれが自信になるんですね。それに、仕事を与えた方がこっちはラク。邪

魔されずに家事できませんから(笑)。仕事を与えるというのも大切なことだと思っています。



最近保護者な親が多いですけど、私は、子どもが外を走り回って転んだり、擦り傷を作ったり、そういうのはむしろ大歓迎。少々のケガはある程度の方がいいと思っています。マの一面が伺えます。

そんな奥村さんが一番の何だと思えますか? 「かわいらしさってやっぱり必要だな。特に今、女性って強い、たくましくって言われるじゃないですか。その中でも、女性としてのかわいらしさ、甘えられる部分をなくしたらダメなやつ。と言っても、私にはそれがうまく操れないんですけど(笑)」。

モットーは「忍耐と根性」

華奢な外見からは想像とを続けるには、忍耐と根性はなくてはならない。奥村さんにも通することだと、24年間ずっとやってるんですけど、一つのこと、同じことを10回から

「私の一番の大きな目標は、あ、いい人生だった」って思ってたことなんですよ(笑)。いろんなことがあってこそ面白い人生になると思うし、それはバイオリンの演奏にも絶対活かされること。だから苦勞も喜びも全部含めて、もっといろんな経験をしたいくらいに思っています」。

奥村 愛 おくむらあい

1979年9月16日生まれ。0型。4歳からバイオリンを始める。バイオリニストとして、国内外でのコンサートをはじめ、TV・ラジオなどで幅広く活躍中。2002年10月、「愛のあいさつ」でCDデビュー。2004年に結婚。1女(4歳)の母。

「私の一番の大きな目標は、あ、いい人生だった」って思ってたことなんですよ(笑)。いろんなことがあってこそ面白い人生になると思うし、それはバイオリンの演奏にも絶対活かされること。だから苦勞も喜びも全部含めて、もっといろんな経験をしたいくらいに思っています」。

Q&A 奥村愛さんに聞きたい!!

Q1>最近のマイブーム

読書です。はまっている作品は、堂場瞬一の「刑事・鳴沢アシリーズ」。10巻全部をそろっています。刑事もの、歴史小説、ノンフィクションなど、シブいもののが好きです。

Q2>よく作る料理は?

ギョーザです。具から手作りして、皮で包んで…。時間があるときはよく作りますよ。

Q3>演奏前に必ずすること

緊張をほぐすためにストレッチをします。

Q4>お気に入りの曲は?
「愛のあいさつ」と「黄昏のワルツ」は、よく演奏会で弾きます。きれいなメロディーでちょっと哀愁があるような音楽が好きです。

Q5>子ども時代の思い出
父の居酒屋仲間と山小屋でキャンプをしたこと。みんなで“男の料理”をわいわい食べたのが楽しかった。その居酒屋さんには、新潟に帰ると娘を連れてたまに行きます。

Q6>自分の性格を分析すると?
基本的におおらかではあると思う。楽天的というか…よくよしない。何かミスをしたときは、「次を頑張るしかない」って思います。

Q7>料理・掃除・洗濯で一番好きなのは?
掃除。掃除をしても有り難がられない場所を徹底的にきれいにして、人に見えないところを掃除するのが好きなんです(笑)。

Q8>自分の性格を分析すると?
基本的におおらかではあると思う。楽天的というか…よくよしない。何かミスをしたときは、「次を頑張るしかない」って思います。

読者プレゼント!!

奥村愛さんのサイン入りエコバッグを10人にプレゼントします。

あて先は 〒320-0811 宇都宮市大通り1-4-24. FAX 028(600)8801、mail...living@m-living.com 栃木リビング新聞社「ママスタ」係へ。締め切りは 9月6日(土)消印有効。



撮影協力/style's CAFE=東京都渋谷区猿楽町11-1LaFuente代官山1階
聞き手/栃木リビング新聞社 編集企画本部 和田美紀